

東洋英和女学院大学大学院

2011 年度前期入学試験

秋季選抜 問題

国際協力研究科 修士課程

小論文

東洋英和女学院大学大学院国際協力研究科

論文試験問題

次の5問の中から1問を選んで答えなさい。

- 問1. 世界的には食糧不足と農産物価格の上昇、日本では食糧自給率が40%を割る半面で2600万トンもの食糧が捨てられている、といった問題があります。これらを踏まえて、現代の世界と日本の農業問題について自由に論じなさい。
- 問2. 2007年から顕在化した世界金融危機は、世界的経済危機を引き起こし、日本でも景気と雇用が悪化し、大学新卒者にとっての「就職氷河期」などと言われる状況が続いてといます。このように現代の世界では、グローバルな金融、国の経済と個人の生活の3者が密接にからんでいますが、この状況について自由に論じなさい。
- 問3. 21世紀に入ってからアジア諸国、とりわけ多くの人口を抱える中国とインドの2国が目覚ましい経済成長を続けています。この2国のそれぞれが、今後10年間に世界にどのような影響を及ぼす可能性があるかについて、自由に論じなさい。
- 問4. 日本と米国は日米安全保障条約で固く結ばれていますが、最近次のような現象が見られます。(1) 両国における日米貿易の相対的比重が低下してきている；(2) 米国内では、日本への関心よりも中国や韓国への関心が急速に高まっている；(3) 米国に留学する日本の若者が大幅に減少してきている。これらの3点を踏まえながら、今後の日米関係のあり方について、自由に論じなさい。
- 問5. 南側の発展途上国の多くが、依然として貧困に苦しんでおり、特にアフリカを中心とした「最底辺の10億人」と呼ばれる人々の生活水準は30年前より下がったといわれています。また、「人口爆発」とも言われるほどの速さで人口が増え、その多く都市部に流入するため、スラム化など都市環境の悪化も続いています。このような事態に対して、国際機関や政府、NGOなどの市民社会は何ができるかについて自由に論じなさい。